



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'94 11月号



米軍撮影のフィルムを入手

『平塚空襲』の戦禍をありのまま後世に

5年前に発足した「平塚の空襲と戦災を記録する会」（会長 島津晴年氏）は、市民有志、他団体など多くの方々のご協力と善意により、この度、『平塚空襲』に関する貴重な写真や映画フィルムを米国国立公文書館から入手しました。こうした試みが、平塚大空襲50周年を迎えるにあたり、改めて戦争や空襲を考え、平和の尊さと郷土平塚の戦中・戦

後の歴史を後世に伝える契機となればと考えます。

写真：『空襲で焼けた平塚市街地』

昭和20年9月9日

（米国国立公文書館蔵）

塩の話

—新着資料から—

■我々の生活になくてはならない塩。日本で1年間に使用される塩は平成5年度で890万トンですが、このうち、味噌や醤油などの食品工業用に12%、家庭用に4%ほどで、全体の80%はソーダ工業に利用されています。ソーダ工業はカ性ソーダ・塩素・ソーダ灰をつくる化学工業で、それらは紙・化学薬品・アルミ・現像液・ファインセラミックス、塩化ビニール・プラスチック・光ファイバー・シリコン、消化器の消化材・ガラスなど、日用品から先端産業まで様々な用途に利用されています。

■こうした塩には精製塩・天日塩・岩塩などいろいろの種類があります。

精製塩は、海水に3%ほど含まれている塩を精製して作るものです。日本では江戸時代に瀬戸内海沿岸を中心に「入浜式塩田」として、潮の干満の差を利用して塩田に海水を導き、水分を蒸発させて作っていました。昭和20年代後半から「流下式塩田」に変わり、流下させて蒸発させた濃い塩水を、竹の小枝等を組み合わせた枝状架という装置にかけてさらに濃い塩水とし、煮つめて塩を作っていました。現在では、海水中の塩が Na^+ と Cl^- のイオンに分かれている性質を利用した「イオン交換膜法」という原理で、濃い塩水を作り、それを蒸発・脱水して塩を精製しています。

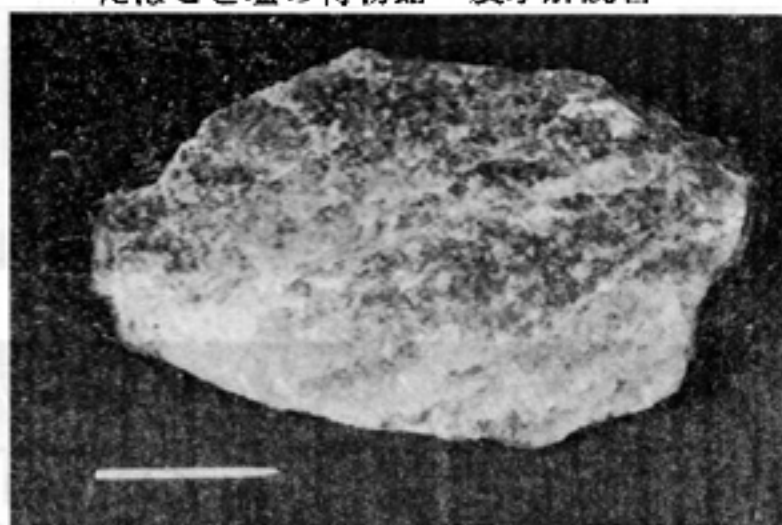
■メキシコのゲレロ・ネグロ塩田は、広い塩田に海水を入れて太陽と風で蒸発させて塩を作る天日塩で、東京23区と同じ広さを有し1年に500万トンを生産しています。しかし、こうした海水から作られる塩は世界の塩の生産量の26%に過ぎません。

■世界の塩の生産量の40%以上を占めるものは岩塩です。岩塩はかつての海域が陸に閉ざされ塩湖となり、乾燥地域で水分が蒸発し、地層中に岩塩層が堆積して形成されたものです。鉱山と同じように坑道を作り採掘したり、水を注入して塩水にして汲み上げたりして採取しています。岩塩の産地としては、チリのアタカマ塩原、マリのタウデニ、ポーランドのベリチカ、イギリスのチェシャー地方などが有名です。日本では岩塩は産出しません。平塚市博物館にはイタリアのシチリー島の岩塩標本があるだけでしたが、本年6月に日本たばこ産業(株) 関東塩業センターよりアメリカ合衆国ミシガン州ランジグ産の岩塩標本を寄贈いただきました。この標本は、55cm×40cm大の大きなもので、やや黒みを帯びています。アメリカにはメキシコ湾岸や五大湖周辺などにいくつもの岩塩鉱床が知られています。

■その他、塩は地下にある濃い塩分(天然鹹水という)を汲み上げて採取したり、ボリビアのウニユ塩湖のように塩分を多く含む湖(鹹湖)からも生産されています。

〈参考文献〉

- ・日本たばこ産業(株) 塩のしおり
- ・たばこと塩の博物館 展示解説書



アメリカ ミシガン州産の岩塩標本

寄贈品コーナー「地図と地形」

平塚市域の古い地形図、地質図や土壌図などの分類図、空中写真、夏休みに体験学習教室で製作した立体地形模型などを展示します。

お知らせとお願い、
11月1日(火)～
12月2日(金)まで
空調設備改修のためプラネタ
リウム一般投影はお休みしま
す。3階への立ち入りもご遠慮下さい。

平塚市博物館

刊行図書案内

書名	判	頁	価格
ガイドブック			
7 平塚 四季の自然	B6	80	500
8 平塚の石仏めぐり -旧市内編-	B6	84	550
10 星空の12ヵ月	B6	114	600
11 湘南の動物-獣蛇蛙魚-	B6	104	600
12 平塚の石仏めぐり -大野地区編-	B6	92	650
13 平塚・平野の地形	B6	96	700
特別展 図録			
相模湾の魚と漁撈	AL	36	500
街の生きものたち	AL	24	500
飛騨の民具	AL	24	300
林の生きものたち	AL	20	600
野鳥入門	B5	40	750
イハダ 花巻・くらしと文化	B5	48	1000
タンポポと春の花	B5	40	700
湘南のキノコ	B5	32	900
おもちゃとあそび	B5	32	1030
砂浜の発見	B5	68	800
絵馬を読む-南相模の絵馬-	B5	48	1000
太陽活動をさぐる	B5	40	1250
鳥類画家 小林重三	B5	57	1000
掘り起こされた平塚 II	A4	40	730
平塚の石仏			
8 真土・中原・南原	B5	102	400
9 田村・横内・吉原・大神	B5	102	400
10 岡崎	B5	88	400
11 金田	B5	76	400
12 片岡・千須谷・広川	B5	54	400
13 山下・高根・万田・出縄	B5	74	400
14 根坂間・公所・河内・徳延	B5	74	400
15 上吉沢・下吉沢	B5	84	400
16 土屋	B5	125	400
平塚市博物館展示ガイド	B5	80	1150

書名	判	頁	価格
博物館資料			
湘南植物誌 I	B5	124	800
湘南植物誌 II	B5	180	800
湘南植物誌 III	B5	168	800
湘南植物誌 IV	B5	180	850
大磯丘陵の地質 2	B5	86	900
大磯丘陵の地質 3	B5	70	900
王子台遺跡発掘調査報告書	B5	36	500
赤坂遺跡発掘調査報告書	B5	44	650
シダ植物標本目録 -府川勝蔵コレクション-	B5	76	500
所蔵資料目録 II -今井家文書 I-	B5	126	350
所蔵資料目録 III	B5	132	500
所蔵資料目録 IV	B5	92	400
所蔵資料目録 V	B5	84	550
所蔵資料目録 VI	B5	73	750
動物資料目録 I	B5	164	750
地質資料目録 I 鉱物	B5	72	650
セミのめけがら調べ	B5	124	900
玩具資料目録 I 中田コレクション	B5	44	750
相模川事典	B5	332	1900

号数	価格	号数	価格	号数	価格
博物館 年報					
第3号	400	第7号	500	第13号	550
第4号	400	第8号	550	第16号	500
第5号	400	第9号	600	第17号	400
第6号	400	第12号	400		
博物館研究報告 自然と文化					
第2号	600	第8号	650	第14号	1000
第3号	700	第9号	700	第15号	950
第4号	700	第10号	650	第16号	950
第5号	550	第11号	700	第17号	1000
第6号	600	第12号	800		
第7号	650	第13号	1000		

■博物館の刊行図書は、博物館受付で販売しています。郵送ご希望の方は、書籍代金と送料を現金書留または郵便為替でお送り下さい。送料については、博物館までお問い合わせ下さい。

平塚市博物館 市史編さん係 刊行図書案内

■平塚市博物館市史編さん係では、「平塚市史」、「平塚市民俗調査報告書」を順次刊行しています。ご希望の方は、直接市史編さん室までお越し頂くか、現金書留にて頒布代金と郵送料をお送り下さい。市史編さん室では、書籍の見本をご覧頂けます。

申込先：平塚市博物館 市史編さん係 TEL. 32-5843

平塚市民俗調査報告書	価格
4 金目・金田地区	1,400
5 旭地区	1,300
6 大野地区	1,300
7 平塚(旧市内)	1,400

平塚市史	
資料編	価格
1 古代・中世	5,300
2 近世(1)	5,000
3 近世(2)	5,000
4 近世(3)	5,000
5 近代(1)	5,400
通史編	価格
9 古代・中世・近世	5,600
別編	価格
12 民俗	7,000

1 1月の行事予定

12	土	古文書講読会 ◎漂着物を拾う会 天体観察会 (国立天文台)
13	日	○体験学習「紙すき」 相模川の生い立ちを探る会 「神縄断層を見る・山北町」
19	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
20	日	古代遺跡を探す会
24	木	裏打ちの会
25	金	◎星を見る会 「秋の星座と土星」
26	土	古文書講読会
30	水	月末休館日

1 2月の行事予定

3	土	天体観察会「アルゴルの変光」 <至：4日>
10	土	古文書講読会 ◎漂着物を拾う会
11	日	○自然観察ゼミナール 「カマキリ入門」 相模川の生い立ちを探る会 「塩川滝と化石・愛川町」
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 ○自然観察ゼミナール 「冬鳥入門」
18	日	古代遺跡を探す会 ○体験学習「おかざり作り」
22	木	裏打ちの会
24	土	古文書講読会
25	日	○冬の自然観察会 ○体験学習「家紋風作り」
28	水	年末年始休館日<至：1/2>

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

11/1～11/29寄贈品コーナー <地図と地形>
12/1～12/27寄贈品コーナー <考古部門>
12/3～1/8 プラネタリウム「月面遊覧 II」
1 1月のプラネタリウムは空調設備改修のためお休みします。

募集◆体験学習「おかざり作り」◆

☆正月用のおかざり作りを体験します。
開催日：12月18日(日)
時間：10:00～15:00
場所：博物館<科学教室>
定員：30名(応募多数の場合は抽選)
申込：往復はがきに住所・氏名・電話番号を書いて「おかざり」係まで
締切：12月3日(土)

募集◆体験学習「家紋だこを作ろう」◆

☆家紋を入れた角風作りを体験します。
開催日：12月25日(日)
時間：9:00～16:30
場所：博物館<科学教室>
対象：小学生以上(親子参加も可)
材料費：400円
定員：30名(応募多数の場合は抽選)
申込：往復はがきに住所・氏名・学年・電話番号を書いて「たこ」係まで
締切：12月10日(土)

会員募集 ◆「冬の自然観察会」◆

テーマ：「冬の雑木林を訪ねて」
場所：二宮町我妻山付近
開催日：12月25日(日)
申込：往復はがき(1家族1枚)に住所・氏名・電話番号を書いて「冬の自然観察会」係まで。
締切：12月15日(木)

募集「自然観察ゼミナール：冬鳥入門」

テーマ：「冬鳥入門」(全3回)
内容：カモやカモメの仲間の見分け方と観察の入門
開催日：12月17日(土) 14:00～16:00
時間：<博物館でお話>
場所：1月7日(土) 13:00～16:00
<野外観察(花水川方面)>
2月5日(日) 9:00～15:00
<野外観察(酒匂川方面)>
申込：往復はがき(1家族1枚)に住所・氏名・電話番号を書いて「自然観察ゼミナール」係まで。
備考：3回続けて参加できる野鳥観察の初心者(探鳥経験10回以下)の方とします。
締切：12月10日(土)

◆博物館行事に関するお問い合わせは、0463-33-5111 博物館 管理係・学芸係まで◆

あなたと博物館 19巻8号 通巻213号 ③3000 発行 平塚市博物館
〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949 ※この用紙は再生紙を使用しています